

# **第 2 次三春町地球温暖化対策実行計画**

**(平成 28 年度～平成 32 年度)**

## **平成 30 年度実施結果**

**令和元年 7 月**

**三春町地球温暖化対策推進会議**

**(住民課 生活環境グループ)**

## 1 計画の概要

### (1) 計画の期間

平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間

### (2) 計画の対象とする温室効果ガス

電気、ガソリン、灯油、軽油、A重油、LPガスの使用により排出される二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)

### (3) 計画の対象とする事務事業の範囲

三春町が行うすべての事務事業とし、すべての組織及び施設を対象とします。

第 1 次計画では対象外としていた、上下水道施設や指定管理者制度等により外部に委託している施設も対象とします。

### (4) 計画の目標

平成 26 年度の CO<sub>2</sub>排出量を基準として、平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間で CO<sub>2</sub>排出量を 5%以上削減します。(毎年度 1%以上の削減に取り組みます。)

・基準年度 (平成 26 年度) の CO<sub>2</sub>排出量…5, 259, 236. 39 kg- CO<sub>2</sub>

・CO<sub>2</sub>削減量目標値…52, 592. 40 kg- CO<sub>2</sub> (基準年度排出量の 1%) ×5 年間=262, 962kg- CO<sub>2</sub>

#### 【参考】国及び県の地球温暖化対策計画における温室効果ガス削減目標

##### (1) 政府地球温暖化対策計画

温室効果ガスを 2020 年度に 2005 年度比で 3. 8%以上削減

温室効果ガスを 2030 年度に 2013 年度比で 26%削減 (2005 年度比で 25. 4%削減)

##### (2) 福島県地球温暖化対策推進計画

温室効果ガスを 2020 年度に 2013 年度比で 25%削減

温室効果ガスを 2030 年度に 2013 年度比で 45%削減

## 2 平成 30 年度の主な取組み事項

### (1) 省エネ・省資源の取組み

・空調設備の適切な温度設定や、照明設備のこまめな消灯など、節電に取り組みました。

### (2) 省エネ設備・機器の導入推進

・「公共施設における照明設備のLED化に係る基本方針」に基づき、公共施設長期修繕計画に位置づけて、照明のLED改修工事を行いました。

①保健センター (福島県地域まるごと省エネ計画支援事業補助金を活用)

②ばんとうプラザ (福島県地域まるごと省エネ計画支援事業補助金を活用)

③旧三春中学校体育館

### (3) 紙類のリサイクルの推進

・コピー用紙の裏面使用、リサイクルボックス活用による紙類の資源化を推進しました。

### (4) 三春町地域まるごと省エネ計画の策定

・町だけでなく、地域ぐるみで省エネルギーの取組みを推進するため、温室効果ガス排出量の削減目標や目標達成のための取組内容などを示した計画を策定しました。

計画期間：2019 年度から 2030 年度まで


計画目標：町内で発生する二酸化炭素を 2030 年度までに 2013 年度比で 26%削減

### 3 平成30年度のエネルギー使用状況

	基準年度 (平成26年度) 使用量	平成30年度 使用量	比較増減	基準年度比
電力	7,163,619.00kwh	6,921,580.00kwh	-242,039.00kwh	-3.38%
ガソリン	77,361.04ℓ	69,716.12ℓ	-7,644.92ℓ	-9.88%
灯油	113,367.95ℓ	105,172.12ℓ	-8,195.83ℓ	-7.23%
軽油	45,162.39ℓ	58,514.65ℓ	13,352.26ℓ	29.56%
A重油	38,000.00ℓ	64,000.00ℓ	26,000.00ℓ	68.42%
LPGガス	162,515.72kg	123,837.60kg	-38,678.12kg	-23.80%

#### 【参考】基準年度の年間消費電力が10万kWh以上の施設

No.	施設名	基準年度 (平成26年度)	平成30年度	基準年度比
1	三春浄水場	1,225,043kWh	1,261,912kWh	3.01%
2	三春病院	1,082,670kWh	1,056,330kWh	-2.43%
3	三春の里田園生活館	539,588kWh	550,127kWh	1.95%
4	三春中学校	528,584kWh	453,594kWh	-14.19%
5	三春水環境センター	397,946kWh	413,228kWh	3.84%
6	敬老園	293,420kWh	271,860kWh	-7.35%
7	役場庁舎	284,060kWh	260,980kWh	-8.13%
8	中妻地区農業集落排水処理施設	210,213kWh	197,030kWh	-6.27%
9	福祉会館	202,309kWh	177,623kWh	-12.20%
10	三春小学校	199,826kWh	208,037kWh	4.11%
11	三春交流館「まほら」	193,224kWh	207,327kWh	7.30%
12	清掃センター	159,872kWh	155,900kWh	-2.48%
13	下舞木地区農業集落排水処理施設	157,448kWh	145,258kWh	-7.74%
14	岩江小学校	128,186kWh	119,598kWh	-6.70%
15	岩江中学校	114,341kWh	92,123kWh	-19.43%
16	歴史民俗資料館	112,791kWh	107,620kWh	-4.58%
17	中郷小学校	106,586kWh	93,117kWh	-12.64%
	合計	5,936,107kWh	5,771,664kWh	-2.77%

 第2次計画で新たに対象となった施設（委託・指定管理、上下水道施設）

### 4 温室効果ガス（二酸化炭素）の排出状況

#### （1）温室効果ガス排出量の算出にかかる排出係数について

事務事業に伴い消費するエネルギー使用量に「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に基づく排出係数を乗じて、温室効果ガスの総排出量を算定します。

電力使用に伴う温室効果ガス排出量の排出係数は、発電所の稼働率や発電方法によって係数が決定され、毎年数値が変動します（変動係数）。

温室効果ガス排出量の算定にあたっては、より実態に即した排出量を算定するため、最新の排出係数（変動係数）を用いることとされていますが、変動係数の算定では省エネの取り組み成果が見えにくいため、基準年度の排出係数（固定係数）で算出した数値を併せて報告します。

**【温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出係数】**

種類	排出係数
電力	(変動係数) 0.521 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh) …平成30年度分 (固定係数) 0.571 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh) …基準年度(平成26年度)
ガソリン	2.32 (kg-CO <sub>2</sub> /ℓ)
灯油	2.49 (kg-CO <sub>2</sub> /ℓ)
軽油	2.58 (kg-CO <sub>2</sub> /ℓ)
A重油	2.71 (kg-CO <sub>2</sub> /ℓ)
LPガス	3.00 (kg-CO <sub>2</sub> /kg)

**(2) 三春町の温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）の排出状況（変動係数）**

種別	基準年度 (平成26年度) CO <sub>2</sub> 排出量	平成30年度 CO <sub>2</sub> 排出量	比較増減	基準年度比
電力	4,090,426.45 kg-CO <sub>2</sub>	3,606,143.18 kg-CO <sub>2</sub>	-484,283.27 kg-CO <sub>2</sub>	-11.84%
ガソリン	179,477.61 kg-CO <sub>2</sub>	161,741.40 kg-CO <sub>2</sub>	-17,736.21 kg-CO <sub>2</sub>	-9.88%
灯油	282,286.20 kg-CO <sub>2</sub>	261,878.58 kg-CO <sub>2</sub>	-20,407.62 kg-CO <sub>2</sub>	-7.23%
軽油	116,518.97 kg-CO <sub>2</sub>	150,967.80 kg-CO <sub>2</sub>	34,448.83 kg-CO <sub>2</sub>	29.56%
A重油	102,980.00 kg-CO <sub>2</sub>	173,440.00 kg-CO <sub>2</sub>	70,460.00 kg-CO <sub>2</sub>	68.42%
LPガス	487,547.16 kg-CO <sub>2</sub>	371,512.80 kg-CO <sub>2</sub>	-116,034.36 kg-CO <sub>2</sub>	-23.80%
合計	5,259,236.39 kg-CO <sub>2</sub>	4,725,683.75 kg-CO <sub>2</sub>	-533,552.64 kg-CO <sub>2</sub>	-10.15%

**【参考】固定係数による温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量**

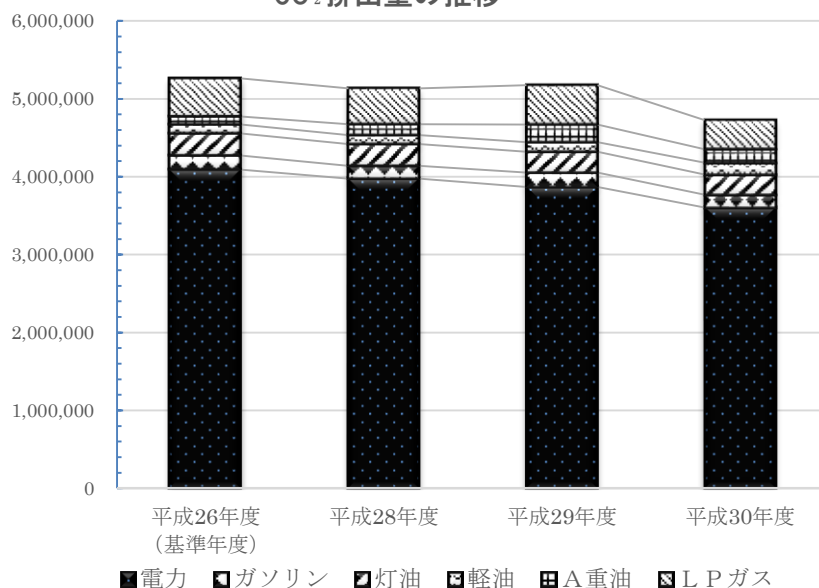
種別	基準年度 (平成26年度) CO <sub>2</sub> 排出量	平成30年度 CO <sub>2</sub> 排出量	比較増減	基準年度比
電力	4,090,426.45 kg-CO <sub>2</sub>	3,952,222.18 kg-CO <sub>2</sub>	-138,204.27 kg-CO <sub>2</sub>	-3.38%
ガソリン	179,477.61 kg-CO <sub>2</sub>	161,741.40 kg-CO <sub>2</sub>	-17,736.21 kg-CO <sub>2</sub>	-9.88%
灯油	282,286.20 kg-CO <sub>2</sub>	261,878.58 kg-CO <sub>2</sub>	-20,407.62 kg-CO <sub>2</sub>	-7.23%
軽油	116,518.97 kg-CO <sub>2</sub>	150,967.80 kg-CO <sub>2</sub>	34,448.83 kg-CO <sub>2</sub>	29.56%
A重油	102,980.00 kg-CO <sub>2</sub>	173,440.00 kg-CO <sub>2</sub>	70,460.00 kg-CO <sub>2</sub>	68.42%
LPガス	487,547.16 kg-CO <sub>2</sub>	371,512.80 kg-CO <sub>2</sub>	-116,034.36 kg-CO <sub>2</sub>	-23.80%
合計	5,259,236.39 kg-CO <sub>2</sub>	5,071,762.76 kg-CO <sub>2</sub>	-187,473.63 kg-CO <sub>2</sub>	-3.56%

**【結果】**

平成30年度の三春町の事務事業に伴って排出された、温室効果ガス（二酸化炭素：CO<sub>2</sub>）の排出量は4,725,683.75kg-CO<sub>2</sub>で、基準年度比（平成26年度）で10.15%削減できました。（電力使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量を変動係数により算定した場合）

なお、省エネの取組み成果を分かりやすくするために、基準年度と同じ排出係数（固定係数）を用いて温室効果ガス排出量を算定した場合においても、基準年度比で3.56%の減となりました。（電力の固定係数による排出量は5,071,762.76kg-CO<sub>2</sub>）

### CO<sub>2</sub>排出量の推移

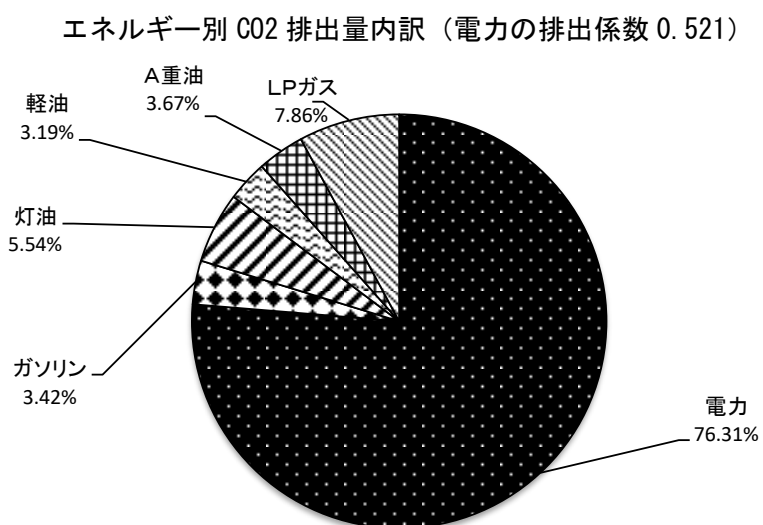


(単位:kg-CO<sub>2</sub>)

種別	平成26年度 (基準年度)	平成28年度	平成29年度	平成30年度
電力	4,090,426.45	3,974,106.07	3,868,919.58	3,606,143.18
ガソリン	179,477.61	167,003.40	182,379.65	161,741.40
灯油	282,286.20	277,599.67	268,113.12	261,878.58
軽油	116,518.97	115,248.34	124,628.86	150,967.80
A重油	102,980.00	140,920.00	224,659.00	173,440.00
LPガス	487,547.16	460,510.01	507,491.15	371,512.80
合計	5,259,236.39	5,135,387.49	5,176,191.36	4,725,683.75

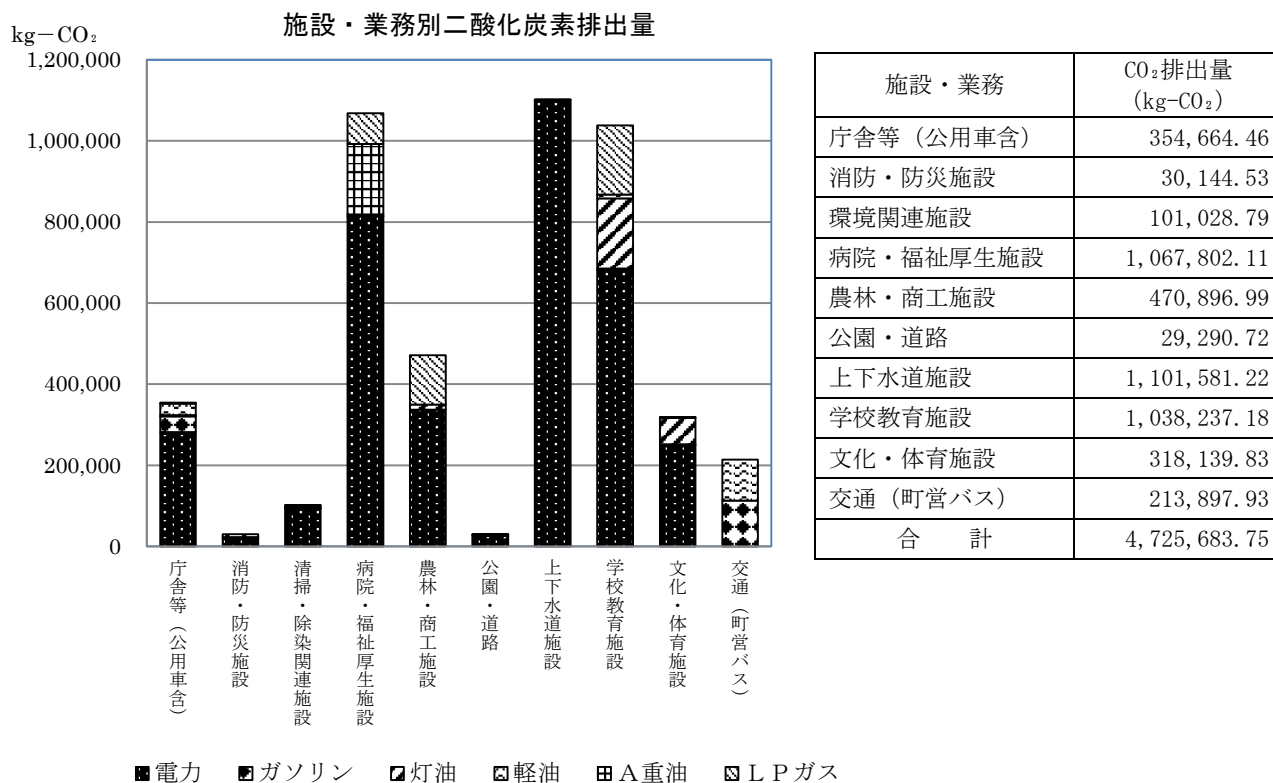
## 5 検証結果

### (1) エネルギー別のCO<sub>2</sub>排出量について



種別	検証結果
電気	<p>三春町の事務事業により排出されたCO<sub>2</sub>のうち76.31%を占め、最も大きな割合となっています。</p> <p>平成30年度の電力使用量は基準年度比で3.38%削減することができました（前年度比では2.50%削減）。</p> <p>三春交流館「まほら」、町民体育館、沢石小学校、中郷小学校、岩江中学校に設置した太陽光発電設備で約8万kWhが発電されており、各施設で自家消費しています。太陽光発電によって、二酸化炭素約4万kg-CO<sub>2</sub>が削減できた計算になります。</p> <p>節電に対する一人ひとりの取組みに加え、太陽光発電やLED照明など、再エネ・省エネ設備の導入により、着実に電力使用量を削減することができています。</p>
ガソリン	<p>三春町の事務事業により排出されたCO<sub>2</sub>のうち3.42%を占めています。</p> <p>平成30年度のガソリン使用量は基準年度比で9.88%削減することができました（前年度比では11.32%削減）。</p> <p>主な要因として、ディーゼル車の町営バスを新たに導入したことにより、使用燃料がガソリンから軽油に移行したためと考えられます。</p>
灯油	<p>三春町の事務事業により排出されたCO<sub>2</sub>のうち5.54%を占めています。</p> <p>平成30年度の灯油使用量は基準年度比で7.23%削減することができました（前年度比では2.33%削減）。</p> <p>主な要因として、施設の廃止（沢石福祉館）により、灯油使用量が削減されたためと考えられます。</p>
軽油	<p>三春町の事務事業により排出されたCO<sub>2</sub>のうち3.19%を占めています。</p> <p>平成30年度の軽油使用量は基準年度比で29.56%の増加となりました（前年度では21.13%増加）。</p> <p>主な要因として、町営バス（ディーゼル車）の導入により、使用燃料がガソリンから軽油に移行したためと考えられます。</p>
A重油	<p>三春町の事務事業により排出されたCO<sub>2</sub>のうち3.67%を占めています。</p> <p>平成30年度のA重油使用量は基準年度比で68.42%増加となりました（前年度比では22.8%削減）。A重油は、用途上まとまった量を購入するため毎年の変動が大きいと考えられます。</p>
LPガス	<p>三春町の事務事業により排出されたCO<sub>2</sub>のうち7.86%を占めています。</p> <p>平成30年度のLPガス使用量は基準年度比で23.8%削減することができました（前年度比では26.79%削減）。</p> <p>主な要因として、三春の里の入浴施設の給湯設備の効率化が行われ、LPガス使用量が削減されたためと考えられます。</p>

## (2) 施設・業務別のCO<sub>2</sub>排出量について



施設・業務別の温室効果ガス排出量は、上下水道施設が1,101,581.22kg-CO<sub>2</sub>と最も大きく、次いで病院・福祉厚生施設(1,067,802.11kg-CO<sub>2</sub>)、学校教育施設(1,038,237.18kg-CO<sub>2</sub>)となりました。

## 6 地球温暖化対策に関する今後の取組みについて

### (1) 職員共通の取組み

- ・職員一人ひとりが環境配慮意識を高め、省エネ・省資源の具体的な取組みを励行します。
- ・省エネ・省資源に取り組むことは温室効果ガスの削減だけでなく、行政コストの削減につながることを意識して職務を遂行します。
- ・CO<sub>2</sub>排出量のうち7割以上が電力使用によるものであることから、引き続き電力使用量の削減を意識し、節電を徹底します。

具体的には

- ・空調の温度設定(冷房は室内温度が28℃、暖房は室内温度が20℃になるように設定)を適切に行い、退庁時は必ず空調の停止を確認する。
- ・使用していない部屋の照明は消灯する。また、退庁時は必ず消灯を確認する。
- ・長時間離席する場合にはパソコンの電源を切る。 など

・コピー用紙の裏面リサイクルを徹底します。両面を使用したコピー用紙は燃えるごみとせず、雑がみとして分別し再資源化します。また、文書の回覧等は庁内LANを有効に活用し、紙の使用量の削減に努めます。

## (2) 庁舎・施設管理等での取組み

・職員の省エネ・省資源の取組みに加えて、「設備・機器の保守管理」、「設備・機器の運用改善」、「省エネ・高効率な設備・機器の導入、更新」に取り組めます。

・特に、電力使用量について、照明の占める割合が空調に次いで大きいとされているため、「公共施設における照明設備のLED化に係る基本方針」に基づいて、財政負担を考慮しながら計画的に照明設備のLED化を進めます。

(令和元年度LED化改修実施予定施設 三春病院、町民体育館)

## (3) 「三春町地域まるごと省エネ計画」による地球温暖化対策

・地域ぐるみでの省エネルギーの取組みや温室効果ガスの削減目標を定めた、「三春町地域まるごと省エネ計画」に基づき、町、町民、町内事業者等が連携して、省エネルギーに取り組めます。

・職員は、職場以外の自宅や地域活動等においても、地球温暖化防止の意識をもって省エネルギーに取り組めます。